

(1)

小田高同窓会 会報『八幡山』第27号



第27号

神奈川県立小田原高等学校
同窓会 檻友会

発行者 会長 小野 康夫
編集者 広報委員会
委員長 樋口 正人

住所 〒250-0045
小田原市城山3-26-1
電話・FAX 0465-20-3281
メールアドレス
kenyukai@odako.org



平成28年度 檻友祭 (小田高ホームカミングデー) / 総会

期日: 平成28年5月15日(日) 会場: 小田原高校

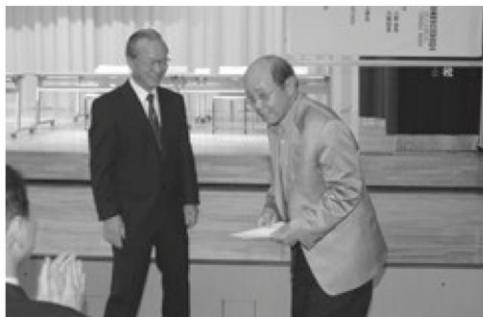
※上記は現在計画中です。確定次第ウェブサイトでお知らせします。

櫻友祭 (小田高ホームカミングデー) : 各校内施設
同期会やクラス会、部OB会などの同時開催を歓迎します。
同窓会総会 : 視聴覚教室

戦後70年をメインテーマに 総会・ホームカミングデー



高17の皆さんを中心に受付を担当



記念品を受け取る早川氏

◆卒業の節目を祝う 開会式
開会式では校旗入場に続いて全員で校歌斉唱。卒業の節目を迎える期（高7、17、27…）の方々に記念の小田高絵葉書を贈呈。はるばる米国ロサンゼルスから参加された早川進氏（高7）が代表して受け取ら

れたことを契機に、来場者に配布するプログラムに加え八幡山トーカーの解説パンフレットを作成。それぞれに広告掲載の形で合計7社のご協賛をいただきました。校旗入場による開会も新趣向です。

◆新しい試みも取り入れて

激動の時代をたくましく生き抜いた諸先輩に思いを実感を持つて平和の意味を考える明確な中心テーマを得たことを契機に、来場者に配布す

◆規約等改正を承認 同窓会総会の参加者は約100人。小野同窓会長（高13）と大嶽校長の挨拶に続き、校史展示室の銘板などの制作で長年にわたりお世話になつてゐる（株）神工舎建築工房・田代信行氏（高16）に感謝状を贈呈。総会の議長に栗原博氏（高20）を選出し、議事が進められた。

まず4月19日に開催した常任幹事会の審議結果（26年度会務報告・事業報告、同一般会計決算、財産台帳、会計監査結果、27年度事業計画、一般会計予算、常任幹事会議事録）について会長から報告。引き続き、総会の協議事項として同窓会費関連の同窓会規約及び規約施行規程の改正（案）について会長が説明し、いずれも原案通り承認を得た。



同窓会総会

◆152名が来場 校史展会場

八幡山トーカーと連携し企画展「戦時・占領下の小田原中学」を開催。工場への通年勤員を経験した中40（4年制）、中41、42、中43、高



熱心に展示を見学

◆多角的な視点で 八幡山トーカー

企画展の見学やグループ参集企画の実施を考慮して例年以上に長目に取った昼休みの後、視聴覚教室のスクリーンに映像資料を映しながら、戦時・占領下の生徒で後に母校の教諭を勤めた奥津裕氏（中44・高2）に「戦時下の小田原を記録する会」で研究を積む井上弘（高26）、香川芳文（高33）両氏が質問する形でメインテーマを掘り下げるトーカーを開。質問者両氏が奥津氏に事前インタビューし脚本を作成。重要なポイントでは両氏の研究成果に基づいて、質疑応答では動員先の日本

1の卒業生から寄贈された貴重な資料を展示。日本光学に動員され、過酷な寮生活を強いられた中41の卒業生が、高36の息子さんと一緒に熱心にご覧になるなど多くの方々にご来場いただきました。窓梅会の方々も来場されました。展示は来年4月まで続けられます。

(3)

小田高同窓会 会報『八幡山』第27号



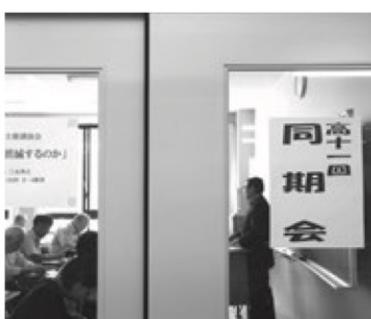
三人プラスワン？

◆異色のコラボ 八幡山ステージ
重たく硬いテーマの後はがらりと
雰囲気を変えて軽やかに。パントマ
イム・山本光洋氏（高27）、クラリ
ネット・井上弦氏（高38）、ピアノ・
森田由子氏（高48）の協演「音楽を
見る？マイムを聴く？」。最前列に
座った子供たちがツボにはまつて笑
い転げる好ステージでした。



映像を中心にトーク

光学で作業中に敵弾のため腹部に貫
通銃創を受け、溝口病院で死亡した
鍵和田武雄氏（中41）の同期生・中
野恒郎氏（中41）が当時の状況を補
足説明されるなど、限られた時間の
中で簡潔で分かり易く、意義深い内
容でした。



三木邦之氏（高11）

【高11】講演会「地域は消滅する
のか」、講師は同期の元真鶴町長・
三木邦之氏。
〔詳細は同期会P15にあります〕



高橋恒清氏（高5）

【高5】公開講座「憲法を考える」、
講師は同期の元空将・高橋恒清氏。
〔詳細は同期会P14にあります〕



高39同期会



高18同期会



鈴木款氏（高32）

【高32】同期会内の「部活動」報告
講演会「モンティパイソンの研究」
講師は同期の日下部伸宗氏・講演会
「電力自由化で何が変わるか？」
講師は同期の鈴木款氏。



いい汗かく仲間

そのほかのグループもそれぞれ楽
しく集うことができたようです。

グラウンドではサッカー部のOB
ゲームが行われました。



山名俊茂氏（高5）

【小田原理想協会】講演会「洋上
原子力発電船」、講師は山名俊茂氏
（高5）。
ぎましたが、キャンパスツアーは相
変わらずの人気。今年も多くの方々
が参加されました。



貴重な展示に見入る

◆本年も公開 窓梅会資料室
旧小田原城内高校同窓会・窓梅会
が9時から15時半まで資料室を公開。
本年も多くの来場者がありました。



屋上のプールサイドで

◆人気の キャンパスツアー
母校の新校舎が竣工して8年が過
りましたが、キャンパスツアーは相
変わらずの人気。今年も多くの方々
が参加されました。

◆早々に売り切れ 模擬店
エントランス前に東華軒、だるま、
小田原おでんが恒例の模擬店を出店。
お弁当はかなり早く売れ切れになります。



紅茶とクッキーで語り合う



昼休みの模擬店

在校生が試験週間を迎える校内を
清掃・点検し、帰途につきました。

ホームカミングデー実施にご理解
ご支援をいただいている母校、協賛

各社そして準備の段階からご協力い
ただいた関係者の皆様に厚く御礼申
し上げます。

◆28年度からは名称を「桜友祭」

（小田高ホームカミングデー）として開催します。

テーマは「今を『創る』小田高健児」
シンポジウムを開催します。

「同窓生の小田高祭」として開催
してきた小田高ホームカミングデー
は、小田高同窓会の愛称「桜友会」
の浸透定着を図る目的で名称を「桜
友祭（小田高ホームカミングデー）」
とし、28年5月15日に開催します。

次回担当同期会の一つである高18
同期会から、開催コンセプトとして
「今を『創る』小田高健児」とコン
セプトを具現化する目玉催事として
「企業経営トップとして活躍されて
いる方々によるシンポジウム」の提
案があり、次の各氏の出演を予定し
ます。

私共一人一人が今を創つており、
いろいろな分野で多くの小田高健児
が活躍しています。今回は、さまざ
まな問題に直面しながらも企業の
リーダーとして活動しておられる
方々のお話を聞きし、共に「今之
創りかた」を考えたいと思います。
詳細は順次同窓会ホームページな
どに掲載します。

皆様のご来場をお待ちします。

ホームカミングデー実行委員長
蛭田克美（高15）



磯崎功典氏（高24）
キリンホールディングス㈱
代表取締役社長



瀬戸薰氏（高18）
ヤマトホールディングス㈱
取締役相談役



山本忠人氏（高16）
富士ゼロックス㈱
代表取締役会長



山口学氏（高16）
株関電工
取締役会長

小田高桜友会は、昨年と同様に小
田原から2台の大型バスを仕立て、
会場に直行した方々を加えた121
名（下記の卒回別等参加者数一覧参
照）は小野康夫会長（高13）をトッ
プに応援団OB会有志と校歌祭委員の
誘導のもと剣道部員・野球部員の在

桜友会と在校生 が共に

節目の10回目を迎えた今年は、過
去最多の27校が参加し、また初めて
11月に県下のケーブルテレビで放映
されました。

出演者総数は、実行委員会の発表
によると卒業生1470名、在校生
388名、教職員・PTA等105
名の計1963名を数えたとのこと。
因みに昨年（第9回）よこすか芸術
劇場での出演者総数は、2085名
でした。

在校生と校歌・応援歌を 声高らかに齊唱

校歌祭は、秦野高校の在校生・OB
による吹奏楽により華々しく開会し、

桜友会は第一部10番目に登壇しまし
た。9番目の希望ヶ丘高校桜蔭会の
演奏が終了後、「逍遙歌」（在職中教
師の作詞、在校生が作曲）が静かに
流れれる中、桜友会女性会員による小

田高の学校紹介を録音したCDを流し、
出演者はその「逍遙歌」を口ずさみ
ながら舞台に整列。

今回も応援団として協力いただき
た剣道部員のリード、応援団OBによ
る太鼓の響きにのって卒業生と在
校生が声を合わせ、元気よく且つ整
然と、時には蛮声を張り上げて歌い
上げました。

歌った曲は、「天が下しる」（大正
13年作）、「冠たる伝統」（昭和22
年10月発表）の二つの応援歌。

第10回青春かながわ校歌祭に参加

校
歌
祭
委
員
会

10月17日（土）
27校同窓会 集合

在校生とともに母校の校歌・応援歌を高らかに齊唱
した。

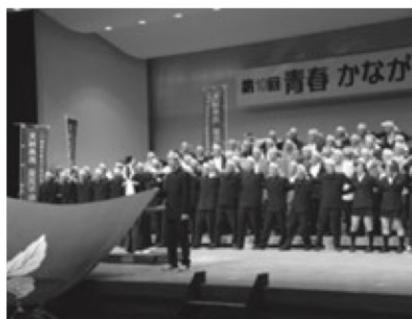
なお、在校生は応援団OB会有志の
硬軟織り交ぜた指導のもと、小田高
武道館に於いて8月29日と9月26日
の2回練習を行いました。



鉢巻きの手拭を右手に校歌齊唱

最後の4曲目は、「大天地にそぞり立つ……」で始まる校歌（昭和3年10月制定）。鉢巻の手拭を右手に持ち替え、上下に強く振りながら卒業生・在校生ともに天にもとどけて声高らかに歌い上げ、会場から暖かい大きな拍手をいただきました。

出演者全員の顔には、達成感と清々しい笑顔、笑顔でした。



肩を組みコチャ節を歌う

そして3曲目は、「コチャ工節」（昭和15年頃作）。校歌祭名物ともなった出演者全員が肩を組み、列毎交互に左右に身体を動かし、手拭鉢巻きが沖合でしぶきをあげる波を表現。

秦野総合高校同窓会 横浜立野高校
同窓会 平塚江南高校江南同窓会
商工高校雄飛会 横須賀大津高校た
ちばな会 平塚農業高校同窓会 横
浜国際高校同窓会 光陵高校光陵会
希望ヶ丘高校桜蔭会 小田原高校櫻
友会 逗子高校秀麗会 港南台高校

第一部 参加高校同窓会一覧 (出演順)

次回(第11回) 横浜で開催

場日程 平成28年10月15日(土)
所 県立青少年センター
(西区紅葉ヶ丘)

実行委員長選出同窓会
神奈川工業高校神奈川工業会
来年も多くの方々と一緒に歌える
ことを楽しみしております。



乾 杯

出来たてのビールのうまさを堪能するとともに校歌祭の出来栄えに大いに盛り上りました。

田原への帰途、在校生を除く41名が参加し、ご存知の方も多いかと思いますが、アサヒビール神奈川工場の見学、そして打ち上げを兼ねてビールで乾杯しました。

アサヒビール神奈川工場 (南足柄市怒田)を見学

同窓会 横浜平沼高校真澄会
第二部 高校城友会 厚木高校芦陵会 新城
川崎高校柏葉会 吉田島総合高校
川崎高校柏葉会 追浜高校しお会 横
浜緑ヶ丘高校牧陵会 横須賀高校朋
友会 厚木東高校常盤会 秦野高校
広陵会

川崎
鶴見
神奈

同窓会 横浜翠嵐高校翠嵐会
高校柏葉会 追浜高校しお会 横
浜緑ヶ丘高校牧陵会 横須賀高校朋
友会 厚木東高校常盤会 秦野高校
広陵会

第6回 自然環境フォーラムを開催 「絆——自然の動植物の世界へ」

毎年恒例の「自然環境フォーラム」

(小田高同窓会、生物部OB会主催)が

27年6月27日、八幡山の母校・小田

高集成館ホールで開かれた。6回目

となる今回のタイトルは「絆——

野生の動植物の世界へ」。会場には

310人が詰めかけた。講演したのは

小田高OBと在校生のみなさん。コ
ディネーターは生物部OB会会長の牧

林功さん(高4)で、会場は自然の

世界を様々な角度から見て聞いて覗
いて話す、楽しい一日となつた。

この日のフォーラムの内容を紹
介します。

「野生の絆」

講演した長山武夫さん(高19)は、

小田高時代の部活は物理部天文班。
大学卒後、小田原市役所に勤務した

頃からカメラに魅かれた。いまでは
小田原市美術展の招待作家として活
躍している。



野生の絆を熱く語る長山武夫さん(高19)

海外の撮影ツアーやでの沢山の動物
写真資料から、長山さんが紹介し始
めたのはマダガスカル・ベンティ
自然保護区の野生動物。両手を高く
挙げ、地上を移動するときは横つ跳
びのベローシファ力。テレビでおな

じみのヤツだ。保護区のロッジの窓際にまで遊びに来るのはワオキツネザルの群れ。わんぱくぶりを發揮して戯れていた。カメラを抱えて移動する車で、ドライバーが「あそこにカメレオンが！」と教えてくれたが、目の前いっぱいに広がる大草原、樹林のどこにいるのか、長山さんには分からなかつた。

【ゾウの写真、怒らせて撮る?】

数えて11頭のライオンの親子が、背の高い樹の上に群れで休んでいた。珍しいと同行のプロ写真家は盛んにシャッターを押していた。ゾウの群れにも遭遇した。離れて歩く大きな1頭のゾウの前で車を止める。ゾウが動くと車がまた前に回る。しまいにはゾウが怒り出して恐怖感を覚えたが、プロたちはもつと怒らせないと迫力ある写真は撮れない、と平気だ。

【カナダではホツキヨククマの赤ちゃん】

カナダ・マニトバ州ウニペグ（といえば女子W杯サッカーなでしこジャパンが第一関門を突破した街）から飛行機で訪れたのがハドソン湾チーチル。オーロラが現れるここは、世界で唯一ホツキヨククマの赤ちゃんとが観察出来る。マイナス50℃の極寒対策の防寒服・防寒靴をつけるが、クマの母子が巣穴から出でてくるのを長時間待つ撮影は大変だ。

【母親クマの母性愛に感動】

顔を出す母親クマは何時間も動かない。警戒している。餌のメニュー

には人間も入っているそうで危険！ 果穴から出た彼らの体は汚れて黒ずんでいた。母親クマの子育てを見てみると、人間の社会の子育ての営みが薄らいでいるように思えてならない、と長山さんは言う。

【薬用植物とその安全性】

講演の佐竹元吉さん（高12）は元・国立医薬品食品衛生研究所部長。東京薬大卒後、国立衛生試験所で薬物の世界をスタートした。退職後、お茶の水女子大・生活環境研究センター教授などで学生を指導した。



薬用植物を話す佐竹元吉さん（高12）

イ！みなさん、いつのまにか身近な薬用植物の世界に魅入らされていた。

灌漑農業発祥のメソポタミヤ文明の地で使われた医薬品は、ハーブのが薄らいでいるように思えてならない、と長山さんは言う。

トやトルコなどに拡散したのがケシ。その加工品のモルヒネは現代医学では欠かせない大きな存在だ。サラマンはスペイン料理に必ず使う食材だが、これは婦人の薬である。

【山形産ベニバナの効果に注目】

不老長寿の薬ザクロはペルシャ原産。エジプトからシルクロードを経て中国へ。ポリペノール（動脈硬化や脳梗塞の発症を抑制する）が入っていることから、研究者の間で注目され始めている。山形県の名産ベニバナはエジプトが原産地。江戸時代には貴重な口紅の材料として資産形成をした。最近は中国医療でその抽出液効果が注目されている。

【日本の民間医療はオバアチャンの知恵】

センブリ、ドクダミ、ゲンノショウコは、昔から日本の優れた民間医療だ。さらにアロエは胃腸薬として知られる。かつて西太平洋で原水爆実験が行われたとき、海域に生き残った島民の皮膚の治療に使われた。米軍の報告書に載つたことでヤケドの薬として有名になり、死の灰で被曝した成分がある。最近では免疫剤として日本薬局方になつていている。

【イチヨウの葉がアルツハイマーに】

オオバコは眼病にいい。室町時代に日本に入ってきたイチヨウは、葉は気管支疾患の薬だが、最近アルツハイマーの進行を抑えるとして世界的に注目されている。日本では副作用があるとして医薬品としては認められていない。

【小田高生物部員からの活動状況報告】

小田高の生物部は部員6人（2年生3人、3年生3人）。6月の小田高祭では教室で研究調査のモデル展示を行つた。戦後の新制高校のときに始まった生物部伝統のデモンストレーションは、いまも続いている。

この日の発表は、水槽を使った生態系の実験報告。2年生の永島春樹君、柴山光歩（みつむ）君、松田知広君の3人が演壇に立ち、永島君が代表で話した。

【光合成も考えて密閉式水槽を使おう】

水槽を密閉しないと、水槽の生物に供給される酸素は水草の光合成のものではないと判断。27年6月から

ローレンツ式水槽を導入した。報告の時点では3週間に入っているが、

【生態系の循環とは。小魚→水草を】

食餌→排泄→微生物→有機物→



在校生（生物部部員）からの活動報告

26年秋、水槽（4.5リットル）を用意。スマエビで実験開始したが半数が死んでしまい、一緒にいたドジメダカも瘦せ細ってしまった。水槽の水も緑化した。水槽が小さ過ぎて、水草の量が制約され、エビが共喰いをした——という観察結果だ。2回

メダカを入れ、水槽の底には砂利に代わって赤玉土を敷いた。間もなくメダカとドジョウの死骸が確認された。数日後にその姿は消えてしまった。土中の微生物が死骸を分解したと思われる。それ以外には大きな変化はなかった。

メダカを入れ、水槽の底には砂利に代わって赤玉土を敷いた。間もなくメダカとドジョウの死骸が確認された。数日後にその姿は消えてしまった。土中の微生物が死骸を分解したと思われる。それ以外には大きな変化はなかった。

メダカが死に、水は濁っている。いまだ①水の量を多くする②水草の量を

「日本は正義のために世界を相手に戦っているのだ」「欲しがりません勝つまでは」「神州不滅」と、毎日前線の将兵のことを思いながら、工場動員に明け暮れてがんばり続けてきた。しかし、日本は負けたのだ。敵は何をしにやってくるのか、これからさき日本はどうなるのか、これに挫折感と茫然自失の状態に置かれた。

8月18日、印刷局、日新工業、近江絹糸の学徒勤労動員が解除され、2年、3年、4年2組の生徒は自宅待機となつた。そして8月20日、4年1・3・4組の生徒を除いて全員登校した。朝礼で野田益貴校長が最悪の場合における生徒の心掛けについて話をした。県内の各学校長は、8月16日に藤原孝夫県知事が最悪の場合における生徒の心の緩みを招集され、茫然のあまり心の緩みを生じさせないよう生徒指導することを要望されていた。翌21日には、寒川の相模海軍工廠も勤労動員が解除され、4年1・3・4組の生徒も学校に戻つて来た。21日から31日まで10日間、1年1組から順番に3年1組までがクラスごとに登校し、校内への海軍航空技術廠や陸軍部隊が引き上げた後の整理を行つた。

「一部授業」と 連合国軍進駐

昭和20年(1945)9月1日(土)、第二学期始業式が行われ、3日(月)から授業が再開された。しかし、校舎はその大半を海軍航空技

術廠が使用したため、北館1階の教室は床がはがされて飛行機のエンジンが据えつけられ、北館の理化教室にはプロペラが天井から吊されていて、授業に使える教室は南館7教室と北館2教室だけであった。また、物資不足や食糧難はすさまじく、生徒は弁当を持って来ることさえ困難であった。

このような教室不足と食糧難のため、本校は「二部授業」を実施した。すなわち、第一週は午前に1・2年の授業、午後に3・4年の授業、第二週は午前に3・4年の授業、午後に1・2年の授業と、隔週で交替するのである。教科書はまともなものではなく、ノートも満足になかった。

英語の村岡英太郎先生はタイプライターでテキストを作り、それを生徒全員が書き写して教材とした。数学の鈴木清先生は書道半紙にガリ版刷りをした。

9月8日から小田原地区への連合国軍進駐が始まり、約2000名のアメリカ将兵が小銃を構え、ジープに乗つてやつて來た。本校の「教務日誌」には「進駐軍の投げた食物を拾わぬよう生徒に注意」(9月11日)などの記事が見られる。

また、学校教練で使用した三十年式歩兵銃などを進駐軍の目にふれないと櫻林の空堀に埋めたが、連合国軍司令部(GHQ)から個人や学校が所有する武器を引き渡す指令が出されたので、9月28日、いつでも進駐軍へ引き渡せるように掘り

出した。10月18日、進駐軍が来校し、銃器庫を調査して銃器を受け取つていた。

4、修身・日本歴史および地理停止に関する指令

本校においては、11月に柔道場、剣道場、弓道場の神棚を取りはずし、柔道、剣道、弓道を廃止し、報國團を校友会に改称した。12月には学校備品の剣道具を生徒に配給した。翌昭和21年2月には御真影を県庁へ返還し、3月に修身・日本歴史・地理の教科書と掛図を回収して、小田原万年町の萩原商店に納められた。総重量は277キロにも及んだ。

昭和21年(1946)2月、神奈川県軍政部教育担当課長のベーカー大尉が来校し、次の事項を注文した。

1、時事問題について先生と生徒と話し合う機会を作ること
2、ラジオを聞くこと
3、自由討議を励行すること
4、学校の民主化について職員間で研究すること
5、両親へ学校の様子を報告させること

その指導に沿つて、4月には各クラスで「自治委員」の選挙が行われ、「生徒自治会」が発足し、9月からは「P.T.A」(父母と先生の会)を結成する準備が進められていつた。

この年の3月初め、アメリカ軍使節団が派遣され、教育的基本に個人の価値を認めるこ

りつぶさなくてはならず、先生も生徒もどうしたらよいものか途方に暮れた。

何らかの名目で戦争に協力したとみなされた校長や教師は、教育現場から追放された。本校では昭和21年、体操の山崎義雄先生が、在郷軍人会分会長であったというだけで解職された。

新教育の導入

昭和21年(1946)2月、神奈川県軍政部教育担当課長のベーカー大尉が来校し、次の事項を注文した。

1、時事問題について先生と生徒と話し合う機会を作ること
2、ラジオを聞くこと
3、自由討議を励行すること
4、学校の民主化について職員間で研究すること
5、両親へ学校の様子を報告させること

その指導に沿つて、4月には各クラスで「自治委員」の選挙が行われ、「生徒自治会」が発足し、9月からは「P.T.A」(父母と先生の会)を結成する準備が進められていつた。

この年の3月初め、アメリカ軍使節団が派遣され、教育的基本に個人の価値を認めるこ

りつぶさなくてはならず、先生も生徒もどうしたらよいものか途方に暮れた。

何らかの名目で戦争に協力したとみなされた校長や教師は、教育現場から追放された。本校では昭和21年、体操の山崎義雄先生が、在郷軍人会分会長であったというだけで解職された。

昭和21年(1946)2月、神奈川県軍政部教育担当課長のベーカー大尉が来校し、次の事項を注文した。

1、時事問題について先生と生徒と話し合う機会を作ること
2、ラジオを聞くこと
3、自由討議を励行すること
4、学校の民主化について職員間で研究すること
5、両親へ学校の様子を報告させること

その指導に沿つて、4月には各クラスで「自治委員」の選挙が行われ、「生徒自治会」が発足し、9月からは「P.T.A」(父母と先生の会)を結成する準備が進められていつた。

この年の3月初め、アメリカ軍使節団が派遣され、教育的基本に個人の価値を認めるこ



旧校舎跡の発掘現場から出土した教練の銃



墨塗り教科書

修身・日本歴史・地理は全面的に授業が停止されたため、地理の朝野六郎先生などは作業科の畠仕事を手伝うことが本業のようになつた。また、例えば英語では、教室での教科書のThis is a tank, I am a soldier.のtank(戦車)やsoldier(兵隊)を墨で塗りつぶさなくてはならず、先生も生徒もどうしたらよいものか途方に暮れた。

4、修身・日本歴史および地理停止に関する指令

2、教員および教育関係官の調査・除外・認可に関する指令

3、国家神道・神社神道に対する

た。昭和22年3月に教育基本法、学校教育法が制定され、4月には学習指導要領（試案）が実施されましたとともに、新制中学校が発足した。学習指導要領は、自由主義・個人主義においてのみ、子供の個性を伸ばすことができるとし、よき市民を育てるため「社会科」が諸教科の核とされた。先生方は、新教育の精神を理解し、進歩的な教育方式を勉強しなければならなかつた。

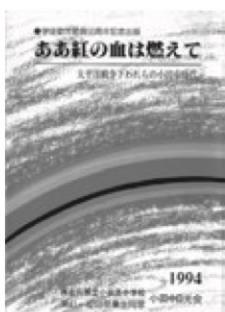
資料委員会委員長 仮野慎一（高31）

「企画展から」に関連する記事として、小田高会報25号P14の小田中日光会最終だよりからの投稿を再掲載します。

小田中日光会、最終だより

（広報委員会）

念願であった太平洋戦争下の勤労動員記録作成に取り組み、播磨晃一を中心とした資料の収集・調査・会員の動員時の体験の原稿を募り、平成6年学徒勤労動員50周年記念出版として「ああ紅の血は燃えて」（299頁）と「遙かな道のり」（156頁）の2冊を刊行しました。日光会を閉じるに当たり会計の残金は小田高同窓会の「がんばれ！小田高応援基金」に寄付し、記念誌の残部（約190冊）は小野康夫同窓会長（高13）の取り計らいで5月の総会・ホームカミングデー当日出席の希望の方々に配布をお願いしました。また小田高の内田幸男教諭（高26）に社会科教材として活用をいただきました。更に小田原の11の中学校をはじめ周辺の中学校の図書室に寄贈し教材として利用いただくようお願いしました。



学徒勤労動員50周年

加藤隆一（中42）

今年は戦後70年ですので、企画展

展示室の公開

「戦時・占領下の小田原中学」を開催

しています。生徒たちは軍需工場へ動員され、機銃掃射を受け、玉音放送で敗戦を知り、教科書に墨を塗り、新憲法が発布されるなど、激動の青春時代をたくましく生きました。写真と品物から当時を振り返り、平和の意味をお考えいただく一助となれば幸いです。ご見学希望の方は問い合わせ先までご連絡ください。

校史展示室から

今年は戦後70年ですので、企画展

「戦時・占領下の小田原中学」を開催されました。日本光学に動員され、過酷な寮生活を強いられた中41の卒業生が、高36の息子さんとごいっしょにご覧になつていました。今年も窓梅会が窓梅会資料室を公開されました。

小田高祭の6月6日（土）・7日（日）は、初めて学校のご高配をいただき、休憩室（3年1組）を同窓会が使用させていただきました。大河ドラマ「花燃ゆ」と吉田庫三初代校長に関する展示と校史展示室を案内する展示を行ひ、各種記念史を並べて紹介しました。展示室に118名、休憩室に178名が来場されました。7日（日）は初代校長のお孫さんで吉田家第13代の吉田基子様が来校されました。大嶽校長、伊藤副校長、鈴木教頭（高26）がお迎えくださいり、校長室で歓談されました。その後、休憩室と校史展示室へ移動し、「明治34年度受持学科試業採点表」の吉田校長が書かれた修身のページをご覧になりました。新入生たちも先生方も熱心にご覧になり、大変充実した行事でした。

昨年に引き続き保護者対象に公開し、多数の方々にご覧いただきました。

校史展示室案内板の設置

日（日）、12月12日（土）は、小田高

所をわかりやすくするため、8月29日（土）に南館へ行く坂道の上に案内板を設置しました。



校史展示室案内板と製作・設置した門松孝幸常任幹事（高22）

校史展示室の隣に教材展示室を平成28年度小田高ホームカミングデーでオープンするため、開設作業を進めています。神奈川県立第二中学校の教科書・教授用具・生徒のノート・

作品などを展示する予定です。7月18日（土）教授用具を陳列するための脚折りたたみ式テーブル（棚なし）6台を設置しました。このうち4台は税理士樫友会がご寄贈くださいました。心から感謝を申し上げます。



直江資料委員（高39）寄贈の木製書架



税理士樺友会寄贈の教材陳列テーブル

図書展示室の整備

数年来、旧制中学の図書の分類・整理を進めていました。26年9月27日（土）に直江博子資料委員（高39）が木製書架2台の上部を、同年10月18日（土）に高校22回同期会がスチール製書架2台をご寄贈くださいました。また、8月11日（火）に鈴木秀幸教頭が学校の不要になった木製書架1台をご寄贈くださいました。心から感謝を申し上げます。

校史資料特別利用申込書等のダウンロード化

利用者の便を考慮し5月2日、「校史資料等利用のご案内」を同窓会ウェブサイトに掲載し、「校史資料閲覧申込書」「校史資料撮影申込書」「校史資料特別利用申込書」をダウンロードできるようになりました。どうぞご利用ください。

「化学B」「The Road to Grammar and Composition I」「THE CROWN ENGLISH GRAMMAR AND COMPOSITION 2」「THE CROWN ENGLISH GRAMMAR AND COMPOSITION 3」（中川宣雄様（高18）より）
新幹線資料多数（牧林功様（高4）より）

資料委員募集中
この連絡会は、展示室を通して母校の発展に寄与するため、展示室を開設している小田原高校、横浜平沼高校、横須賀高校の同窓会が協力して24年4月に発足しました。第5回連絡会を26年11月23日（日）に母校



鈴木教頭（高26）寄贈の木製書架



高22寄贈のスチール製書架

の同窓会事務室で開催し、要綱・確認書・協定書施行後の校史展示施設の運営について有意義な意見交換を行いました。また、今年は戦後70年が3校の企画展の共通テーマです。県庁内政記者クラブで記者レクを行った予定でしたが、箱根山噴火と新幹線事故のため中止になりました。次回の連絡会は横須賀高校で開催の予定です。

主な寄贈資料のご紹介

「大礼観兵式写真帖」（閑院宮載仁親王の写真所収）（石井敬士様（高11）より）
皆勤賞の「樺の葉」タイプ等（國分尚様（高16）より）
「美なりや翠嵐」創立100周年記念誌、「創立100周年記念演奏会CD」「同記念映像集DVD」（翠嵐会様より）
「書翰部紀要」第66号（閑院宮載仁親王日記）大正10年後半の翻刻所収（宮内庁書陵部編修課内藤一成様より）
日本光学工業川崎製作所で神風の鉢巻きを締める生徒たちの写真、海軍航空技術廠発動機部の電流計・電圧計等（吉澤繁先生（高36）より）
百段坂中辺の写真、野球部解散記念の写真、校舎全景写真（中野恒郎様（中41）より）
次の資料をご寄贈ください。
高26と高34の卒業アルバム、第1

少年飛行兵採用身体検査及口頭試問通達書、進学適性検査受検票、旧日新工業勤労学徒・社員三十周年記念の大同窓会の神風の鉢巻き等多數（川添猛様（高1）より）
昭和20年度第3学年成績通知表
（佐々木淳様（中4）より）
「土岐博也追悼集」（小田原高校岳部OB会長 加藤和彦様（高19）より）
「吾等が母校」小田原中学校絵葉書6枚、学校報国団「体練歌々集」等（鈴木貞行様（中40④）より）
「今泉六郎寄贈図書（洋書）」の研究等（鈴木貞行様（中40④）より）
「吉澤繁さんから寄贈された電流計の写真と原稿が投稿されましたので掲載します。（広報委員会）

小さな電流計

古澤繁（高36）

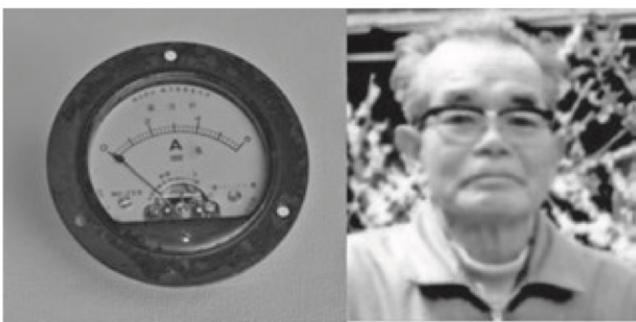
質問合わせ先
同窓会事務局 TEL・FAX 0465-20-3281 電子メール kenyukai@odako.org
資料委員会委員長 仮野慎一（高31）
吉澤繁さんから寄贈された電流計の写真と原稿が投稿されましたので掲載します。（広報委員会）

利用者の便を考慮し5月2日、「校史資料等利用のご案内」を同窓会ウェブサイトに掲載し、「校史資料閲覧申込書」「校史資料撮影申込書」「校史資料特別利用申込書」をダウンロードできるようになりました。どうぞご利用ください。

「化学B」「The Road to Grammar and Composition I」「THE CROWN ENGLISH GRAMMAR AND COMPOSITION 2」「THE CROWN ENGLISH GRAMMAR AND COMPOSITION 3」（中川宣雄様（高18）より）
新幹線資料多数（牧林功様（高4）より）

資料委員募集中
毎月1回、日曜日の午前中に南館3階の同窓会事務室で、資料に関する打ち合わせ、資料の分類・整理などを行っています。展示室の公開時には受け付を行います。ご関心のある方は問い合わせ先までご連絡ください。

この電流計は小田中に進駐軍が来校する直前に、不要になつた電気機材とともに叔父が海軍の方から譲られたものです。終戦直後は物資が不足し電気機材は貴重品でした。電気工作が得意であった叔父は教師の仕事を続けながら、この機材を使い近所の方の電気製品を無償で修理しま



電流計と吉澤義之先生

した。その後、叔父と父（吉澤巖）小田中41回、終戦時16歳）は一緒にラジオ制作などに電気機材を大切に使用しました。

私が子供の頃、父はこれらの電気機材を用い工作を教えてくれました。私は工作が好きですが、工作の面白さを教えてくれた父にはとても感謝しています。

した。その後、叔父と父（吉澤巖）

はたいへん豊かになりました。しかし小さなものをつけ粗末にしがちですが、当時の先輩方の小さなものを大切にする心は忘れずに生きています。

この電流計の他に昭和16年製の電圧計と同18年製の電流計があり、これらは同窓会に寄贈させていただきました。

現年会費は2,500円でし

て、会員数は対象卒業生800名を超える方の内、約100名でして厳しく難しい会運営となつております。

再スタート時300名を超えていたのですから往時が夢のようです。

「個」を大事にとの生活様式の変化からとも思われますが、何とか賛同して頂けることを祈念しております。

ひと頃より急速に増えた女性対象者の方々が自身の時間で動けるようになれば入会して頂けるのではと期待しております。

した。その後、叔父と父（吉澤巖）

なお、設立30年を記念する催事は27年10月25日、多数の会員参加のも

と執り行いました。
会長 杉澤隆哉（高9）

税理士樫友会

前総務 横島正雄（高28）
事務局・蛭田克美（高15）

昭和60年（1985）それまでもなんなく在った同窓会組織でした

が皆様からの要望により、よりしっかりした会組織として再スタートし30年になりました。

昭和60年（1985）それまでも

昭和60年（1985）それまでもなんなく在った同窓会組織でした

が皆様からの要望により、よりしっかりした会組織として再スタートし30年になりました。

昭和60年（1985）それまでもなんなく在った同窓会組織でした

が皆様からの要望により、よりしっかりした会組織として再スタートし30年になりました。

昭和60年（1985）それまでもなんなく在った同窓会組織でした

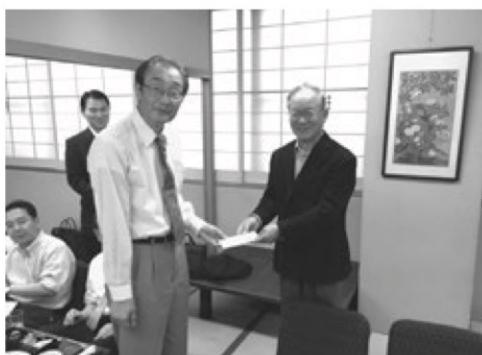
が皆様からの要望により、よりしっかりした会組織として再スタートし30年になりました。

昭和60年（1985）それまでもなんなく在った同窓会組織でした

が皆様からの要望により、よりしっかりした会組織として再スタートし30年になりました。

昭和60年（1985）それまでもなんなく在った同窓会組織でした

第25回小田中 ・小田高東京会



27年6月3日、四谷・スクワール麹町に85名が参集。進行は沖山（高14）、常盤（高43）両世話人。山崎会長（高13）の来賓挨拶。大嶽校長、小野同窓会長（高13）の来賓挨拶に続いて森（高29）氏が、「高齢出産をしたお母様への子育て支援」を講演。

富士フィルム樫友会



肩を組んで応援歌

富士フィルム樫友会の26年度総会は例年どおり4月に富士フィルム神奈川工場で開催され26年度の活動報告と27年度の運営・活動計画が決定した。

総会に先立ち会員約80名から投稿された会報「樫友」22号を出席者に配付した。

総会では、会員が年々減少するなかで、活動を活発に展開するために

湯河原地区小田高会・沓澤会長（高9）の音頭で乾杯、会食・歓談。布目（高37）、山崎（高27）、鈴木・青木（高55）三氏の話題提供後、全員が10グループで懇親。応援団OB中山（高11）、志村（高20）、山崎（高27）三氏の指導で応援歌・校歌を齊唱し閉会。次回は瀬戸新会長（高18）のもと、総務の小柴一彦会員（高33）にバトンタッチ、楽しい報告をしていただけることでしよう。

28年6月8日に開催。

はどうしたらよいかとか、繰越金の有効な活用法等が議論された。

26年度の活動としては、11月に実施されたウォーキングと5グループ（写真撮影、料理、パソコン、俳句、囲碁）による同好会活動が主なものである。

雨上がりの快晴のなか開催されたウォーキングは、三島楽寿園の紅葉を愛でつつ、湧水の源兵衛川を散策し、最後に楽しい会食が出来て、思い出に残る日となつた。

同好会活動は、会員以外の一般の方の参加もあり、富士フィルム桜友会の枠を超えた活動となつている。

毎年富士フィルム神奈川工場の近況報告を拝聴する機会が設けられているが、本年度はリーマンショック後しばらく停滞していた事業活動が回復して、これから新規事業を中心順調に拡大できる見通しがついた。総会後は、懇親会では、大嶽小田原高等学校新校長が文武両道の学校を目指したと抱負を語られ又、小野同窓会会長（高13）からは同窓会運営費の改善案の提案があり、会員共々と和やかなひと時を過ごすことが出来た。

校歌を音唱し、来年の再会を誓い合い、閉会した。

事務局長 加藤 寛徹（高11）

第23回

八幡山を語る会

毎年、秋の名月を愛する頃という



第23回八幡山を語る会での先生方

ことで、26年10月28日に小田原の「うおがし」にて会員18名中8名出席、英語の小清水賢先生、数学の小島勲先生、理科の加藤克美先生、英語の草野照雄先生、理科の原田郁生先生、国語の坂本規一先生、社会科の藤田和雄先生と奥津裕先生、小田原高校

での教え子の成長・活躍ぶりや近況報告に時間がたつのも忘れ、小田原高校に少しでもお役に立てばとの思いを新たにすることが出来た。

最後は、坂本規一先生のリードで、校歌、応援歌、シユプレヒコールで意気盛ん、再会を約した。

世話人 奥津裕（中44・高2）
世話人 藤田和雄

で開催しました。

総会では、来賓としてお招きした

小田原高等学校の小野康夫同窓会長（高13）、大嶽真康学校長、内田幸男

役所櫻和会林良英会長（高29）のほか、会の顧問の県議会議員、県を退

職された諸先輩方及び現役会員をあ

わせ、約40名の参加者を得て、懇親

を深めました。

冒頭、星崎雅司会長（高28）から

2年間会長を務めたので後進に道を譲りたいとの話があり、和田久新会長（高28）が選出されました。和田

新会長からは、県庁小田高会を継続

し、益々の発展に尽力したいと力強

いあいさつがありました。

来賓の方々からは、小田原高等学

校の同窓会の活動状況や生徒等の近況報告をいただきました。

その後、吉川伸治副知事（高23）

から、最近の県政の状況について分かりやすいお話をいただきました。

会の最後は、参加者全員で肩を組

み、校歌、応援歌を音唱し、大変な盛り上がりの中で、お開きとなりました。

総会は、様々な職域や年齢を超えた会員相互の貴重な情報交換や交流の場です。これからも積極的に参加

を呼びかけ、人と人の繋がりを強化しながら、県庁小田高会をさらには活性化させるよう努めて行きたいと

考えております。

河鍋章（高33）

県庁小田高会は、事務職、技術職、教職、警察職など様々な職種の方が会員で、現在、約280名です。

会の主たる行事は、毎年夏の総会です。本年は、7月15日に横浜市内

南足柄桜友会 第23回総会

南足柄桜友会事務局長 吳地滋（高22）

南足柄桜友会は、一昨年度の第22回総会の開催に続き、27年10月31日に第23回総会を開催しました。

第一部は南足柄市女性センターで、講演会を40名の出席で開催しました。

講演は「箱根山の歴史と現在、未

來」と題して、神奈川県温泉地学研究所の萬年一剛氏にお願いしました。

今般の大涌谷噴火による地殻変動は終息に向かい一つあるが、噴気は活発な状況が続くこと。観光や温泉を元に戻すのは困難であり、新しい観光事業として前向きに捉えるべきなどと、興味深いお話を伺いました。

第二部は割烹わかふじで、総会と懇親会を42名の出席で開催しました。古屋達夫会長（中40）の挨拶に始まり、ご来賓の小野康夫同窓会長（高13）と鈴木秀幸教頭（高26）からご祝辞をいただきました。講演の萬年一剛氏にもご臨席いただきました。

校歌斉唱、乾杯を皮切りに、懇親会も和やかに経過して、恒例の参加者全員による1分間スピーチが始まりました。先輩方の意氣軒昂なお話から元気をいただき、充実したひとときを過ごすことができました。

最後に、応援歌「冠たる伝統」を全員で熱唱し、エールで闘の声を上げて、お開きとなりました。

今後は、東宮修造新会長（高5）のもと、新たな活動を展開してまいります。



横浜銀行 小田中・小田高会

当会は出向者を含む横浜銀行の行員とそのOBからなる職域同窓会で、90名程の会員で構成されています。今年度も10月3日から一泊二日の日程で、箱根湯本温泉郷・吉池旅館にて年次総会を開催。当日は50名ほどの会員が参加いたしました。

冒頭、横浜銀行執行役員ブロック支援部長の石川学幹事長（高34）から、「小田中・小田高および横浜銀行」という所属を通じた縁（ゆかり）の会員同士が、時代を超えて共通の文化を分かち合える絶好の機会」であり、「老いも若きも一同に集合する、貴重な交流の場である」と、総会開催の意義について挨拶し、関連会社社

(13)

小田高同窓会 会報『八幡山』第27号

長の下山秀弥会長（高27）による乾杯の発声により、総会は開会されました。

会が進むにつれて、本会の元会長の出縄茂会員（高2）をはじめ、多くの諸先輩から、往時の思い出話や社会人としての心得、また「吉田庫三小田中初代校長」と「原富太郎横浜興信銀行初代頭取」のお二人を題材に、校訓の至誠にからめた、「誠の心」いまつわるエピソードと題した会員の発表を通じて、相互の「絆」は時代を超えて一層強まり、参加者各人が満足のいく、素晴らしい総会を開催することができました。

最後に、高校時代に応援団長の経歴を持つ山本博文会員（高36）による恒例のエールのもと、全員で円陣を組んで校歌の斉唱を行い、一同相互の無事と来年の再会を約束し、総会は盛況裏に閉会いたしました。

椎野公夫（高28）

小田原市役所 横和会

小田原市役所横和会では、5月22日（金）に「ホテルおかだ」を会場に27年度総会を開催しました。本会は、現在約300名の会員を擁し、毎年開催する総会は、宿泊と市内日帰りで交互に実施しており、今年は宿泊開催ということで130名余の参加がありました。

加藤憲一市長（高35）、来賓としてお

招きした小野康夫同窓会長（高13）、大嶽真康小田原高校校長、県庁小田高会星崎雅司様（高28）に御挨拶をいただき、会員同士の懇親を深めました。懇親会のメインイベントである大抽選会では、地域活性の一助を目的に、小田原の地場産品、名産品を景品として多く選出し大いに盛り上げりました。また、最後には参加者全員で輪になつて肩を組み、校歌を熱唱しました。

毎回、総会には、若手職員からべテラン職員まで100名超の参加があり、世代を超えて職員が一つになつています。また、今年度は7名の新人が加入しました。本会は、昨年度に創設50周年を迎えた。今後もより一層の交流によつて絆を深め、一丸となって「自ら考え方行動する職員」として市民の皆様に信頼される市政運営に尽力してまいります。

地域・職域同窓会が 増えました

星崎 阳子（高56）

松田 横友会
届出日 27年11月16日

神奈川県警察「八幡山」
神奈川県警察に在籍する小田高卒業生及び県警察の退職者を会員としています。
会員数 約60名（26年12月7日現在）
事務所 横浜市中区
役員名 会長 片山真（高33）
活動状況 年1回12月頃懇親会を開催
開催日 27年2月6日
連絡先 南足柄市
役員名 会長 渡辺円一（高14）
会員数 25名（27年10月25日現在）
活動状況 27年10月25日発足総会開催
開催日 27年11月21日
連絡先 上
役員名 会長 濑戸耕作（中39）
活動状況 27年11月14日発足
開催日 27年11月21日



建学之碑 阿部第二代校長と吉田初代校長

名実共に「翁」の世界へ 中43・高1 同期会

松田町内に在住する小田中及び小田高会員に於ける同窓会の活動。

松田 横友会
届出日 27年11月16日

幹事 野地敏雄

◎26号の記事に校正ミスがあります。た。お詫びして訂正いたします。

P13 「同期会の動き」の「八幡山の青春譜」を進呈 中43・高1 同期会本文中

①4段目9行目
波瀾 → 波瀾万丈
②11行目
禪の國 → 神の國

高卒業生を会員としています。
連絡先 松田町松田庶子
会員数 140名（27年度は高26までの当面60歳以上）

高卒業生を会員としています。
連絡先 松田町松田庶子
会員数 140名（27年度は高26までの当面60歳以上）

界に入る。まさに光陰矢のごとしです。
ある。
年に一度の同期会は、卒業後、一度も欠かすことなく継続している。
しかし、出席者は減少、60歳前後まで60人前後だったが今は20人前後になってしまった。卒業生の7割近い人が、黄泉に旅立っているからだ。
これも世の常のこと。でも元気者もいる。

さを知り、涙した。まさに国破れ山河ありである。思えば昭和18年から6年間、戦争一敗戦一復興というまぐるしく世の中が移り変わる激動の中を生き抜いてきた同期生は大変貴重な経験をしたと自負している。
そんな私たちも、2・3年後には米寿を迎える。名実共に「翁」の世界に入る。まさに光陰矢のごとしです。

③後ろから3行目 教育委 → 教育
④5段目 1行目及び14行目 後任 ↓ 後世
⑤14行目 では語部 ↓ は語部 045-42 ↓ 0465-42
⑥後ろから6行目 中44・高2八幡会

戦中・戦後の八幡山6年間

中44・高2八幡会

我々は、昭和19年小田原中学入学、軍人勅諭と軍事教練、箱根報国寮訓練、防空壕掘りや箱根の山の下草刈り等の軍国主義教育を受けると同時に、勤労動員で水田の暗渠排水や、密柑山での肥料運び、更には工場動員で、酒匂の印刷局での満州國紙幣の印刷や、足柄の日新工業での水上機のフロートづくりに明け暮れ、空襲で艦載機の機銃掃射をうけたりと勉強どころではなかつた日々を過ごしたものである。

敗戦後は、民主主義教育で、運動会での仮装行列や、城内高校生との文化祭等、何時も激動期の話はつきない同期会である。

6年間で培われた至誠無息・堅忍不拔の精神は熱く脈打ち、今度も4月総会は料亭柏又に26名夏の湯河原温泉一泊には12名参考集し、84才となると会員80名弱ながら意氣盛んなものがあり、我々の体験と知恵を後輩に役立つてもらいたいと願つて

高4回生の諸兄へ

卒業以来63年、お互にいつしか80歳を越えてしましました。

この間残念ながら体調をくずし、鬼籍に入られる友人も多くなりました。

一方まだまだ元気にしておら

れる方も多くご同慶のいたりです。

しかしながら諸般の事情を考慮し、先般4回生の幹事会をもちまし

た日本国憲法は改正すべし」が持論。

憲法問題は、改憲、護憲、加憲、そ

れに米国など先進国にみる修正憲法など様々だが、国民の間でディベー

トまで発展していいのも事実だ。

5回生同期会の常任幹事は「それ

し、4回同期会の残金および幹事が預かっていた3年5組の残金の合計金額70,592円は小田高同窓会に寄付することにいたしました。

諸兄にはいちいちご意見を伺うこともかなわず申し訳ありませんがご了承ください。

なお、小グループでの会合は、今後とも各所で継続されることを期待しております。

常任幹事

本多博光、廣澤清光、原雄一郎

高4回同期会から樺友会（同窓会）へご寄付いただきました。改めてお礼申し上げます。

5回生、公開講座

憲法問題を語る

ホームカミングデー・同窓会総会が開かれた27年5月17日、母校の教室を会場に5回生主催で公開講座を開いた。演題は「憲法を考える」。講師は同期生で、防衛大学1期生の高橋恒清さん。航空自衛隊のトップ（空将）にまでなった。

高橋さんは、その経歴から「戦後、占領軍マッカーサーに押し付けられた日本国憲法は改正すべし」が持論。憲法問題は、改憲、護憲、加憲、それに米国など先進国にみる修正憲法など様々だが、国民の間でディベートはまだまだ元気にしておら

れる方も多くご同慶のいたりです。

しかししながら諸般の事情を考慮し、先般4回生の幹事会をもちまし

た日本国憲法は改正すべし」が持論。

憲法問題は、改憲、護憲、加憲、そ

れに米国など先進国にみる修正憲法など様々だが、国民の間でディベー

トまで発展していいのも事実だ。

5回生同期会の常任幹事は「それ

じやあ、論議をしよう」と考えた。

それを八幡山の母校で実現しようと



料亭「柏又」での総会写真



高橋さんも「この問題では議論がない。感情論や一方的な組織活動が目立つ。オカシイ」と賛同しての講演となつた。

講師希望者は手を挙げて！総会が終え、昼食をとつたら5回生の教室にご参加ください。

八樺会（高8）だより

♪元気にゴルフを楽しむ♪

八樺会（高8）では、主な行事として春・秋の「ゴルフコンペ」と「講演会・忘年会」を実施しています。

今年のゴルフは春・4月21日の予定が雨のため中止となり、秋・10月13日は好天に恵まれ、富士小山ゴルフクラブで行われました。参加者23名。

今回は、幹事の配慮もあって、シニアティーからプレーすることになりました。風もなく、長袖では暑い位の良い天気であった。



八樺会・ゴルフ好きの面々

体力の衰えからか「シニアティーにして貰つてもスコアは変わらないね」というのが大方の感想であつ

木村太郎先生から、今年の「樅九会」はいつやるのか、と問い合わせがあり。5月7日、喜寿の歳だから、神社の宮司をお招きしての「樅九会」にしよう、企画を立てていると返答。ぜひ出席したいと連絡がつた。

木村太郎先生から、今年の「樅九会」はいつやるのか、と問い合わせがあり。5月7日、喜寿の歳だから、神社の宮司をお招きしての「樅九会」にしよう、企画を立てていると返答。ぜひ出席したいと連絡がつた。

木村太郎先生から、今年の「樅九会」はいつやるのか、と問い合わせがあり。5月7日、喜寿の歳だから、神社の宮司をお招きしての「樅九会」にしよう、企画を立てていると返答。ぜひ出席したいと連絡がつた。さて、祝詞をあげるのは、いかがなものかと、企画を変更。参加者が62名となる為、大稻荷神社の樅山宮司を中心に、集合写真を3班で撮るなど、例によつてテンヤワニヤ。

主賓の代わりに小田高・広島県人会会長・平野朝彦さんが挨拶。シャレで大稻荷神社の境内にあり、インターネットで有名になつた、錦織神社の勝守り(テニスの錦織圭選手に因む)を、お孫さんの土産にと販売。

追伸

2次会の席で、二宮の小泉孝之さんが、平塚の志村契さんが入院中なので、見舞いに行きますので、途中で失礼しますと、平塚の病院へ。

後日、8日に逝去されたと連絡あり。それから3日後、ロンドン在住のマドンナ・澤田勝子さんが、これまた8日に亡くなつたと訃報が入る。7月に東京で「偲ぶ会」が開かれ、幹事会が出席。2人とも7日の「樅九会」の無事の終わりを待つて亡くなられた。合掌――――――。

来年も「樅九会」は5月7日(土)開催。
奥津和彦
高11便り

23年から継続実施している小田高ホームカミングデー(OHCD)における公開講演を今も実施し(講師・三木邦之さん「地域は消滅するか」)、講演会後恒例の懇親会とともに有意義で楽しい一時を共有しました。

また、同期の篠志家(前任常任幹事の今道周雄さん)と吉田明夫さん)が11年に開設したホームページ「小田原高等学校第11期」(略称Web 11*) <http://odako11.net>による求心力も一層高まり、投稿者数が徐々に増えるとともに、2年前からカウントを始めたアクセス件数も24,000件に達しようとしています。このような学年合同の活動にようつて、卒業時のクラスの如何にかわらぬ“汎クラス交流”的輪が広まっていき、旧交を温めることはもとより、卒業後無慮60年近くになっての同期生との“新たな出遭い”を3次会で撮るなど、例によつてテンヤ

2次会の席で、二宮の小泉孝之さんが、平塚の志村契さんが入院中なので、見舞いに行きますので、途中で失礼しますと、平塚の病院へ。

後日、8日に逝去されたと連絡あり。それから3日後、ロンドン在住のマドンナ・澤田勝子さんが、これまた8日に亡くなつたと訃報が入る。7月に東京で「偲ぶ会」が開かれ、幹事会が出席。2人とも7日の「樅九会」の無事の終わりを待つて亡くなられた。合掌――――――。

これに対して、卒業時のクラス会活動を再び活性化する必要性があると

高12同期会
佐々木洋
23年は母校卒業55周年。10月21日割烹わかふじにおいて39名の参加で、宴席の前に喜楽家笑助さんの落語「親子酒」で始まり、なごやかに時間がたつにつれ「かつば天国」で恒例の佐藤三之介さんの時世を語ったスピーチ、高校時代やり投げで名をはせた木村友一さんから小田高卒の若手アスリートが2020年東京オリンピックを目指してるとの話題提供等がありで、思い出を語り合う会場はおおいに盛り上がりりました。

そして、高橋浩司さん、大津幹雄さんが音頭をとり、校歌、応援歌の齊唱。

次回2020年は卒業60年に当たる昭和36年卒業生(高13回)の卒業55年同期会は、28年5月23日(月)箱根の湯本富士屋ホテルで開催いたします。

新緑のさわやかな季節です。ご夫婦やファミリーでの参加も大歓迎です。同期の方々の多数のご参加を期

たが、参加者の年令78才でベスグロ87は立派な成績であろう。

優勝は天野隆博君 準優勝柏井正

平君 3位岡野正則君であつた。

終了後「ようげつ」でゴルフをやらない方々を交え懇親会。参加者は28名だつた。来年も「健康で元気にゴルフを楽しもう」を合言葉に散会しました。

池田勉

20個があつと云う間に壱切れ。校歌・応援歌をオーケストラザーズの指揮で齊唱。

豪の者も現れた。後期高齢者もまだ元気でした。

豪の者も現れた。後期高齢者もまだ元気でした。

高11便り
奥津和彦
23年から継続実施している小田高ホームカミングデー(OHCD)における公開講演を今も実施し(講師・三木邦之さん「地域は消滅するか」)、講演会後恒例の懇親会とともに有意義で楽しい一時を共有しました。

また、同期の篠志家(前任常任幹事の今道周雄さん)と吉田明夫さん)が11年に開設したホームペジ「小田原高等学校第11期」(略称Web 11*) <http://odako11.net>による求心力も一層高まり、投稿者数が徐々に増えるとともに、2年前からカウントを始めたアクセス件数も24,000件に達しようとしています。このような学年合同の活動によつて、卒業時のクラスの如何にかわらぬ“汎クラス交流”的輪が広まります。このように学年合同の活動によつて、卒業時のクラスの如何にかわらぬ“汎クラス交流”的輪が広まります。このように学年合同の活動によつて、卒業時のクラスの如何にか

強く感じています。“グラス内交流”促進の過程で意思疎通の遺漏をなくすことによって、樅友会行事(“汎学年交流”の場)及び11期生会同行事(“汎クラス交流”の場)に対しても“我々が同窓会行事”として“全員参加”的意識で臨めるようになつと願っています。

※なお、Web 11では「11期生」という枠を外し、小田高生やOBのどなたにでも投稿やコメントできるようになっています。どうぞ気軽に投稿してください。



樅山宮司を中心に第3班



待しております。
なお、詳細案内は2月初め頃、各個人宛に届くようになります。

個人宛に届くようになります。
常任幹事 加藤浩

高16 よくぞ古稀まで！

11月8日、万葉の湯で12時より古稀を祝う同期会を78名参加で開催されました。クラス持ち回りで、17年より毎年開催してきました。田下兄弟社の田下昌人君の音頭で高校三年生、八幡山賛歌（昌人君作詞）のオーピング大合唱でスタートしました。



神奈川県立小田原高等学校 第16回生同期会 平成27年11月8日 万葉の湯

一人一言では、30秒の持ち時間は大幅に超える状況でした。宝子山典宏君から、来年の桜友会に同期の富士ゼロックス・山本忠人会長（関電工）で参加しようとの提案もあり、加藤常行、国分尚、門松武則君のリードで校歌、応援歌の齊唱、来年は8組ペーテンタッチで一次会はお開き。引き続き二次会のスタート、今までカラオケを含め談笑で終了時間の5時となり、散会しました。

幹事・秋山正徳 常口学長の講演を予定しているので参加しようとの提案もあり、加藤常行、国分尚、門松武則君のリードで校歌、応援歌の齊唱、来年は8組ペーテンタッチで一次会はお開き。引き続き二次会のスタート、今までカラオケを含め談笑で終了時間の5時となり、散会しました。



恒例の校歌斉唱でお開き

高18回同期会 「若者たち」を全員で大合唱

東京オリンピックの昭和39年に在学中（2年）の我々団塊世代は同期539名と過去最大です。5月17日小田原コンベンションホール（ナック）で開催した同期会には131名が参加。御出席の石井千昭先生、比企好弘先生、高橋浩先生からは生徒を元気付ける温かいご挨拶を頂戴。

「君たち団塊世代の会は最も元気があり、楽しいよ」同期生からは「賑やかで、温かくて面白かったぜ！」との感想頂戴。皆様の御協力に感謝。

幹事代表 中川宣雄

高18回同期会から桜友会（同窓会）へご寄付いただきました。改めてお礼申し上げます。

恒例の校歌斉唱でお開き

学年全体での同期会は18年前にも開催しましたが、久しぶりの再会ということもあります。開会前から話が弾んでいました。

開会挨拶に始まり、恩師紹介、乾杯と続きましたが、会場はクラス単位の立食形式としたので、10テーブルそれぞれで近況報告や思い出話を盛り上がっていました。その後、学年ごとの席の移動や、アトラクション等も交え、応援団のエールによる校歌合唱で終会となりました。

今回の同期会がきっかけとなり、事にはネット転送可能なスライド

Facebook上の募集に加え、桜友会からもご協力いただきて更新された住所リストで郵送でも案内を送付いたしました。当日は、恩師の先生

ショーや送信して勧説依頼③宴会出しどを周到準備の三點。目玉は和田君率いるオヤジバンド演奏と今も小田高マドンナの女性合唱。最後には「若者たち」を会場大合唱。サプライズは、現在江戸切子の有名工芸家

となつた松田博君が持参のグラスを景品に争奪ジャンケン大会実施。なんと幹事6組担任の比企先生が優勝、恩師は強く、生徒脱帽。最後に応援団長の飯田和君による恒例の応援演技と校歌斉唱。お互いの健康と再会を期してお開き。後日、恩師からは

27年11月1日に高校36回同期会を50歳という節目の年の開催であり、参加者は恩師9名、同期生118名の盛大な会となりました。

湯本富士屋ホテルにて開催いたしました。

同期会の企画にあたっては、フォーメンピックイヤーの2020年にも開催しようという声も上がりており、次回につながる同期会となりました。

高36回 同期会



高36回同期会



卒業20周年の記念同窓会

高校第48期は卒業20周年にあたる本年に記念同期会を開催しました。同期会の企画にあたっては、フォーメンピックイヤーの2020年にも開催を前提に、帰省中の参加も見込める日程ということで8月15日に開催いたしました。

開会挨拶に始まり、恩師紹介、乾杯と続きましたが、会場はクラス単位の立食形式としたので、10テーブルそれぞれで近況報告や思い出話を盛り上がっていました。その後、学年ごとの席の移動や、アトラクション等も交え、応援団のエールによる校歌合唱で終会となりました。

会からもご協力いただきて更新された住所リストで郵送でも案内を送付いたしました。当日は、恩師の先生

クラス単位での同窓会も行われています。今後、還暦はもちろん、オリエンピックイヤーの2020年にも開催しようという声も上がりており、次回につながる同期会となりました。

高48 同期会

川口孝典

を含めて約120名が小田原万葉の湯に集まり、旧交を温めました。開催当日は、当初の立ち上げメンバーに加えて5名程度の同期生が、受付や会費収納などの業務を支えてくれました。

これを機会といたしまして、第48期としての同期会を結成し、樫友会より補助金をいただきました。活動としては48期専用のFacebookグループを立ち上げ、現在109名が参加しております。今後も、来年の樫友会の催しにむけて活動してゆく

予定です。今回の同期会では、子育てやスケジュールの都合で参加できなかつた方にも多かつたので、次回のイベントではこうした方々にも参加の輪を広げたいと思います。

仕事の面では中堅としての役割、私生活においても子育てなど、これから多くの人生のチャレンジが待っている年代です。旧交を温めることで、自分の原点をみつめ、未来に向けて共に歩む力を育みたいと思います。

27年5月17日（日）ホームカミングデー開催とともに、小田原高校3-9教室において、30名の参加を得て懇親を深めました。今回から旧小田原城内高校OGの4名も参加しました。

第7回樫泳会（水泳部OB会）総会開催

総会開催

の部活動の楽しい話や、近況などを話し、時間が過ぎていくのを速く感じました。

www.kenekai.org/ に詳しい活動内容が載っていますのでご覧ください。

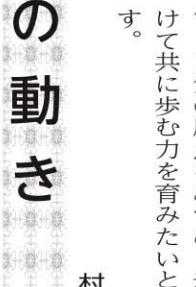
事務局長 本多直司（高48）



本連絡会の瀬戸理事長
ソフトテニス部の表彰選手



総会の様子



村越一夫

会員通信

27年度同窓会総会への返信等から（概要）

来年の総会・懇親会もホームカミングデーに開催します。マスターズ大会へも随時参加します。ぜひ、先輩・同期・後輩を誘い合って参加してください。樫泳会ホームページ[http://

総会終了後の懇親会では、先輩方

の挨拶に始まり、現役水泳部のサポートや決算報告、今後のOB会活性化策等、有意義な話し合いを行いました。

前年度のマスター大会（競泳）参戦や今年から開始するOBによる現役生へのコーチング内容（全4回）の報告があり、熱海市（5月開催）や平塚市（11月開催）で行われるマスター大会へできるだけ多くのOB・OGの参加に力を入れていく方針を確認しました。



中37卒業50周年記念のシダレザクラ



3世代の卒業生が
同時に博士に

27年9月24日（木）、齋藤毅（高35）
菊地哲雄（高46）、遠藤淳司（高51）
の3名が京都工芸纖維大学大学院にて博士（学術）の学位を取得致しました。

京都工芸纖維大学伝統みらい教育研究センター長である濱田泰以教授のご指導の下、齋藤は「組物複合材料シャフトの内部構造および力学的特性に関する研究」、遠藤は「漆工芸における職人の特徴認識と材料特性に関する研究」と題し、博士論文を上梓致しました。

私たち3年前、小田原を遠く離れた京都の地で、同じ大学院の同じ研究室に同時に入学し、初めて出会いました。世代も離れ、お互いを全く知らず、しかも異なる分野で活動していたことを鑑みれば、濱田教授に導かれた運命的な出会いと言つて差し支えないでしょう。3年にわたる研究ではそれに困難も多く、乗り越えるためには小田高にて培った“堅忍不拔”、“至誠無息”的精神が必要だったと感じています。

博士としての生活は始まったばかりであります。その名に恥じぬよう研究に勤しみ、それぞれの分野の発展に貢献して行きたいと思います。



学位記授与式後記念撮影(左より、菊地、遠藤、齋藤)

遠藤淳司（高51）



樹齢200年以上のクスノキの年輪板

補助金をもらって 同期会を始めよう！

同窓会が発展するためには、同期会の結束・活性化が不可欠です。そこで、同窓会では、各卒業期が新たに同期会を結成する場合には、5万円を限度として、補助金を交付しています。ぜひ、ご利用ください。

「母さん助けて詐欺」 にご注意！

同窓会ウエブサイトの同期会結成補助金交付要領にしたがって、申請書をダウンロードしてお使いください。申込書および必要書類を添付して同窓会宛（36頁参照）に郵送してください。

また、各同期会において、同期の住所録一覧（Excelファイル等）が必要な場合には、申請書に希望内容と連絡先（メールアドレスを追記）いただくか、または、樫友会（kenyukai@odako.org）宛にメール連絡いただければ、対応いたします。

オレオレ詐欺とか振り込め詐欺と言われた犯罪は、最近ではその方法が、宅配便や郵便で私設私書箱へ送付される、バイク便業者や代理人が指定場所に受け取りに来るなどに変化してきているようです。

以前、「小田高同窓会の会員名簿が使われている可能性がある。」との新聞報道もあり、同窓会としては深刻に受け止めています。

会員の皆さん、家族の連絡を密にして、騙されないように注意しましょう。

名義後援の制度を 始めました！

同窓会では、名義後援の承認手続の制度を制定了。

名義後援とは、会員である個人又は各種団体等が実施する事業等に対して、同窓会が経費等の負担をせず、単に後援の名義を使用させることをいいます。

この名義後援の第1号として、高57回の小澤麻里さんが、25年9月16

日に小田原市民会館大ホールにて、ヴァイオリン・リサイタルを開催しました。

今後、名義後援を御希望される場合には、樫友会のメールアドレス宛にお問合せください。

○創立百十周年記念史のご案内
母校は22年（2010）に創立百十周年を迎えました。創立百十周年記念事業の一環として、24年3月に創立百十周年記念史『小田原高校百周年から十年の歩み』を発刊しました。B5判、縦書、二段組、316ページです。実費1000円にて販売しておりますので、私書箱

宛、またはウエブサイトから（注文ください。お支払い方法は書籍に同じ）には、樫友会のメールアドレス宛にお問合せください。

立五十周年記念図書館、旧体育館、初代樫葉館、上庭の木造小屋（セピア）、第四代校舎、航空写真（西から撮影）、航空写真（北東から撮影）があり、本号の各所に掲載しています。一枚100円。ご購入は同窓会事務室までご連絡ください。

内 容

□ 絵（カラーページ）
序章 豊かな実りを求めて
第一章 再編統合と単位制への移行

第二章 学力向上進学重点校と教育制度の変革

第三章 新校舎落成と新グラウンド完成

第四章 創立百十周年記念事業

第五章 生徒会

第六章 P.T.A.

第七章 同窓会

資料集
年表



※ 「小田原高校百年の歩み」をお持ちの方へ

資料編 P. 154 「大学別合格者数の記録」

○創立百十周年記念史の「ご案内」
母校は22年（2010）に創立百十周年を迎えました。創立百十周年記念事業の一環として、24年3月に創立百十周年記念史『小田原高校百周年から十年の歩み』を発刊を加える。

○小田高絵葉書

母校の絵葉書を作りました。校訓扁額、樫林（セピア）、鎮遠の鐘、創

同窓会では同窓会事業の財源を確保するため、会報に広告を掲載することとしました。当会報は、学区内に限らず、全国の同窓会会員に配付しております。よりご家族の方にもお読みいただけます。

会報の広告募集につきましては、後日個別にご案内をお送りする予定となります。希望される方は、P.36の連絡先までお早めにお申出下さい。

第28号「八幡山」の 原稿募集と投稿先のお知らせ

●発行時期 平成28年12月中旬（予定）
●発行部数 約23,500部（予定）
●配付先 小田原高校同窓会会員 約22,000部

●投稿先 ①メール、②FAX、③私書箱により投稿をお願いします。（各あて先はP.36同窓会連絡先参照）

◆ 提出期限

28年9月1日
小田原高校教員・他校同窓会等 約1,000部
小田原高校在校生及び新入生 約500部

●広告料（寸法はおおよそです。）

①横8.8cm×縦4.5cm
15,000円

（1頁5段のうちの下段の半分）
②横8.8cm×縦4.5cm
30,000円

（1頁5段のうちの下段）
③横17.6cm×縦9.6cm
60,000円

（1頁5段のうちの下段）
●広告原稿 広告の原稿（デザインを含む）は広告主ご自身でご用意願います。

第28号に掲載する 広告を募集します！！

●募集の締切り 締切りは28年7月31日（日）とさせていただきます。

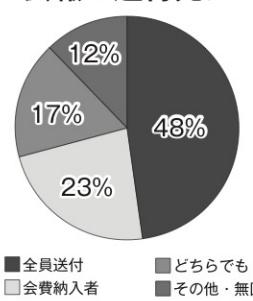
会との密なる連携
・本部と各同期会、地域・職域同窓会と今以上に意思疎通を密にし、それぞれの意見・要望を率直に伝えら

れる体制づくりが第一。本部から積極的に働きかけ、同期会と本部の日常的接觸頻度を高める。

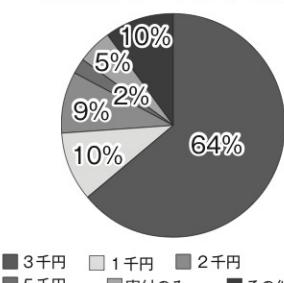
小田高同窓会権友会の運営に関するアンケートの結果

会報「八幡山第26号」及び同窓会ホームページなどで会員の皆様を対象に、昨年の秋から実施したアンケートの結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

会報の送付先は



会費はいくらが妥当

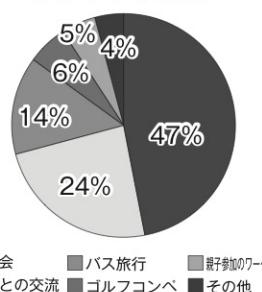


⑤ 回答者の64%は現行の会費3,000円を妥当と考えています。

① 回答いただいた方のうち、90%以上が会報を毎回又は時々読む方であります。また、55%が毎年会費を納付、18%が時々納付であり、実際の会費納入率(25ページ参照)の約9%を大きく上回り、回答者の多くは同窓会活動への積極的な支援者であると考えられます。

② 回答者の48%は「全員に会報を送付」に賛成し、「会費納入者のみに会報送付」の23%を上回っています。

要望の事業は



- ③ 回答者の60%が権友会行事に参加。40%の参加者のうちの約2/3がホームカミングデーに参加。
- ④ 権友会に希望する事業は、現役生徒との交流、バス旅行が多数でした。
- ⑤ 講演がホームカミングデーに参加。

《結果の概要》

回答総数=291人

回答者の年齢区分

29歳以下	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	年代不詳
33人	12人	22人	47人	69人	106人	2人
11.3%	4.1%	7.6%	16.2%	23.7%	36.4%	0.7%

アンケート項目のうち主なもの回答状況は、次のとおりです。

1 会報は読んでいますか？

毎回読む	時々読む	読まない	送られて来ない
207人	58人	17人	9人
71.1%	19.9%	5.8%	3.1%

2 会報は会費納入の有無にかかわらず会員全員に送っています。今後はどうすべきだと思いますか？

今後も全員送付	会費納入者のみ	どちらでもよい	その他・無回答
139人	67人	49人	36人
47.8%	23.0%	16.8%	12.4%

3 親睦事業に参加したことがありますか？(複数回答可) 回答数=282人

ホームカミングデー	校歌祭	自然環境フォーラム	その他	参加したことない
99人	32人	13人	4人	173人
34.0%	11.0%	4.5%	1.4%	59.5%

4 今後、同窓会でどのような親睦事業を開催して欲しいですか？(複数回答可) 回答数=186人

講演会	現役生徒との交流	バス旅行	ゴルフコンペ	親子参加のワークショップ	その他
129人	66人	37人	16人	14人	12人
69.4%	35.5%	19.9%	8.6%	7.5%	6.5%

5 会費は払っていますか？

毎年払っている	時々払っている	払っていない	免除されている(24歳未満)	免除されている(77歳以上)	無回答
158人	53人	56人	11人	10人	3人
54.3%	18.2%	19.2%	3.8%	3.4%	1.0%

6 年会費はいくらが適当だと思いますか？(現在は3000円)

3000円	1000円	2000円	5000円	4000円	寄付のみ	その他・無回答
186人	30人	27人	5人	0人	15人	28人
63.9%	10.3%	9.3%	1.7%	0.0%	5.2%	9.6%



購入したチェロ

27年8月22日現在の基金残高は2,699,160円です。

別表の通りですが、最近の主な支援の内容は、①体育準備室のエアコン更新費用②学校説明会のクリアファンイル代③トレーニング機器の更新費用④弦楽部チエロ2台購入費⑤進路指導研究会や教育研究会の参加交通費などです。

「がんばれ！小田高」応援基金は、ほとんどの生徒が部活動や生徒会活動に参加し、高校生活の充実を目指す一方、「学力向上進学重点校」として生徒の学力向上や第一志望校の実現に向けて数々の積極的取り組みを進める母校への支援を目的としています。運営は同窓会とPTAから選出された委員各5名による運営委員会で行なっています。また支援申請には副校長と教頭が出席します。

小田高応援基金からの報告

27年8月22日現在

寄付等の状況

年度	寄付		支援		主な支援内容(件数)					運営費 (払込手数料)
	人数	金額(円)	件数	金額(円)	進路指導 教育研究	部活動	理科 教育	学校 説明会	地域交 流促進	
20	193人 5団体	2,012,500	27	822,052	4	4	3	5		5
21	152人 4団体	902,430	9	393,670	1	1			1	3
22	154人 1団体	1,152,000	14	351,525	1		1		5	3
23	27人 1団体 銀行利息	1,158,000 163	20	173,338	11	2				4
24	132人 5団体 銀行利息	888,081 312	23	1,117,077	12	3				5
25	134人 5団体 銀行利息	903,232 195	32	992,955	27	1				4
26	157人 3団体 銀行利息	948,836 216	39	1,005,898	27	2		1	1	8
27	16人 1団体 銀行利息	122,440 178	7	532,908	5	2				
計	965人 25団体	8,088,583	171	5,389,423	88	15	4	6	7	32
										26<178>

◆寄付のお申し込み方法は、同封の払込取扱票(払込手数料は基金負担)でお願いします。また次の口座への振込みも可能です。その際の振込手数料は、恐れ入りますが皆様にご負担をお願いします。

◆基金への寄付は、同窓生、PTA会員、趣旨に賛同される一般の方を対象に受け付けています。

◆寄付金の額は、一口千円で何口でも結構です。

小田高の進路指導で同窓生が大活躍!!

小田原高校では、進路指導の一環として、同窓生の協力を得て「社会で活躍する先輩たちとの職業別セミナー」と「先輩大学生と語る進路学習会」を開催しています。

「社会で活躍する先輩たちとの職業別セミナー」では、昨年11月に先輩

方を中心に、社会の様々な分野の第

一線で活躍する講師29名が、平日にもかかわらず在校生のために本校を訪れ、「なぜ、その職業を選んだのか?」「今後の職業についてどんなとき充実感を感じるか?」等、実体験に基づいた講義をしました。

また、「先輩大学生と語る進路学習会」では、毎年6月に全校生徒を対

【ゆうちょ銀行(コード9900)】
小田原支店(029) 預金種目当座
口座名「がんばれ！小田高」応援基金
口座番号00250-8-81599
支店 当座預金
【他行から振込む場合】
ゆうちょ銀行 029(ゼロ二キユウ)
口座番号 0081599
口座名「ガンバレオダコウオウエンキキン」
皆様のご協力をよろしくお願い申しあげます。

この会報の中でご紹介しています
ご寄付のほかに、高20回同期会から
もご寄付をいただいています。改め
てお礼申し上げます。

象に、先輩大学生（4年生中心）40名ほどが講師となって、分科会形式で大学の選択・受験勉強・大学での生活について、先輩達が後輩に「熱く」語り掛けています。後輩の生徒にとって今後の人生について考える貴重な機会となっています。

今回は、それぞれの進路指導で、実際に講師を勤められた2名の方から、その感想や在校生から受けた印象などをお聞きします。

櫻井 泰行（高37）

私が都内の設計事務所を退職し、独立した年にこの職業別セミナーが始まった。第1回目から途中一度休んだが、毎年参加させて頂いている。自身アメリカの大学院卒業後の就職活動の中で建築設計事務所の社長と少人数で円卓を囲みその社長の話を聞く機会があった。結果、私はその社長の事務所で働くことになった。気取らず、身近にその人がやってきた事や考え方を聞くことは吸収するとも多いし影響力も強い。私は自分の体験をもとに現役の高校生に自分がやっている仕事を伝えてみようと思った。もちろん人の話を聞くのと自分がやるのは大違い。最初の1、2年は試行錯誤の連続であった。実際に高校生を前に話をして感じたのは自分と高校生との距離感である。自分の気持ちは高校5年生？でも高



校生から見ると立派なおじさんである。そのおじさんが建築家とはどういう仕事か？などと語っても話は一方通行である。生徒の気を引き、少しでも距離を縮めたいと考えた。3つの事を試みた。

まずは話をするときに一人称で話す。客観的に仕事を説明するより自分がやってきたことを自分の言葉で「私」を主語にして話してみた。

次に講義をする教室に設計した建物の写真や模型を飾り、高校生が教室に入った瞬間にこの部屋では建築の事を話すんだ！とわかるようにした。環境を整えることで話を始める前から生徒は心の準備が自然にでき

生徒の気持ちをつかむ事ができる。

結果として生徒が興味を持つて聞いてくれるようになり授業中に寝るなどを使う。本物にはパワーがあり、まずは耳から入ると脳が反応するようで生徒が一齊に私の方を見る！このようにあの手この手を使って自分の職業を高校生に伝えている。

この職業別セミナーでは後日学校から生徒の授業後の感想が届く。この感想表は生徒が記入したものそのまま送ってくれるので生徒の声が聞こえてくるようである。そしてその内容に毎年元気とやる気をもらっている。そしてその内容には私の講義を聞いて建築に興味を持った！といつたものが少なからずある。実際に建築学科へ進んだ生徒に出会ったこともある。頭でわかついていても実際には自分の講義が高校生の進路になからず影響を与えていた事を体験するといふのが引き締まる思いである。

同時に講義内容は最新の状況を踏まえ、日々変化する職業の社会性を含むものにしたいと思う。高校生の未來を明るくする、小田高の伝統となりつつあるこの職業別セミナーに参加させていただき大変感謝している。

自分がまさに小田高生だったころ、この進路学習会でたくさんのことをお話ししてくださった先輩方の姿を見て、「卒業したら自分もあんな先輩になって、今度は経験を語る側としてこの学習会に参加してみたいな」と漠然と考えていたことを思い出します。6月の学習会にお呼びいただいた際には、とうとうそれが叶つ嬉しい気持ちがある半面で、同時に卒業生としてその場に立つことで実感する時間の重み、時の流れが直に感じられて、どこか寂しくもあるような不思議な感情を抱きました。

会の前後には久しぶりに校舎の中を歩かせていただきましたが、様々な場所・ものが在学中と変わらずに残っており、小田高生だったころをしみじみと思い出しては非常に懐かしく感じました。当時同級生だった卒業生たちも多くの者が講師として参加しており、会場はさながらちょっとした同窓会のような雰囲気でした。教育実習生として教師になることを目指し再び小田高に帰ってきて学びを深めている者、日夜自分には見当もつかないような緻密で骨の折れる研究を進めている者、就職活動に励む、自分を高めようと日々邁進している者・・・彼らの様々な姿を目にして、自分も大きな刺激を受けました。そして会の最中には、現役の小田高生たちの生の声を沢山聞かせていただきました。後輩たちの様子を見ていると、変わらない小田高の姿が確認できた気がして、なんだか嬉しい気持ちになりました。

卒業生たちも多くの者が講師として参加しており、会場はさながらちょっとした同窓会のような雰囲気でした。教育実習生として教師になることを目指し再び小田高に帰ってきて学びを深めている者、日夜自分には見当もつかないような緻密で骨の折れる研究を進めている者、就職活動に励み、自分を高めようと日々邁進している者・・・彼らの様々な姿を目にして、自分も大きな刺激を受けました。そして会の最中には、現役の小田高生たちの生の声を沢山聞かせていただきました。後輩たちの様子を見ていると、変わらない小田高の姿が確認できた気がして、なんだか嬉しい気持ちになりました。

卒業生たちも多くの者が講師として参加しており、会場はさながらちょっとした同窓会のような雰囲気でした。教育実習生として教師になることを目指し再び小田高に帰ってきて学びを深めている者、日夜自分には見当もつかないような緻密で骨の折れる研究を進めている者、就職活動に励み、自分を高めようと日々邁進している者・・・彼らの様々な姿を目にして、自分も大きな刺激を受けました。そして会の最中には、現役の小田高生たちの生の声を沢山聞かせていただきました。後輩たちの様子を見ていると、変わらない小田高の姿が確認できた気がして、なんだか嬉しい気持ちになりました。



第四代校舎(※)



“先輩大学生と語る進路学習会”の一場面

指導をしてくださいました。そのサポートのおかげで、一つの結果に繋げることができたと思っております。その恩返しという意味もあり、今では自分自身よりよい学習の仕方について、日々自ら発信しております。そしてこのたび、そのような自分の思考やメソッドを本にして出版させていただきました。『凡人が合格最低点ギリギリで東大に合格する方法』というタイトルですが、人が合格最低点ギリギリで東大に合格する方法』といふタイトルですが、東大合格を目指すためだけを目的とするテクニック本のようなものというわけではありません。受験生の時に自分が受験を通して考えたこと、そして、小田原高校の先生方から教わったたくさんのことの本の形にまとめ上げた一冊です。小田原高校の図書室にも寄贈させていただきました。もしよろしければ、ぜひご覧いただければと思います。



の司会により、小野康夫同窓会長



フレッシュな320人の会員を新たに同窓会に迎えました。卒業式を翌日に控えた3月6日(金)に、母校体育館で、第67回卒業生の同窓会入会式が開催されました。

同窓会入会式



大校章「桜の葉」



今年も校内幹事をはじめ、学校のご協力をいただき、卒業生全員が同窓会員となりました。

からの長い人生の中で、同窓生としての自覚を持っていていただく良い機会となりました。

藤海斗さんと佐藤瞳さんに、会長から常任幹事の委嘱状を手渡しました。新常任幹事の2人からは、常任幹事としての決意が表明されました。

引き続き、各クラスの幹事の紹介があり、高67の常任幹事となつた遠藤海斗さんと佐藤瞳さんに、会長から常任幹事の委嘱状を手渡しました。

(高13) から新入会員に同窓会の活動内容、同窓生が3万人を超える、社会を通じて先輩同窓生とのつながりが、社会へ出た中で思わず会いになることなど、入会の歓迎とこれからのお勵勉を兼ねた言葉が贈られました。

最後になりますが、このたびは「先輩大学生と語る進路学習会」で大変素晴らしい経験をさせていただきました。機会があれば、ぜひまた小田高にお邪魔させていただきたいと思っています。今回お声をかけていただき、まことにありがとうございました。

校内幹事長内田幸男先生(高28)

◆27年の小田高祭は、6月6日(土)、7日(日)でした。学校との調整も大きく前進し、校舎1階、3年1組の教室を同窓会コーナーとして使用できることになりました。休憩室を兼ねた教室ですが、校史展示室に足を運びやすい位置にあるということです、学校側の配慮を感じたところです。

今年のNHKの大河ドラマ「花燃ゆ」の主人公は「吉田松陰の妹 文庫三先生の叔母になります。文の姉、松陰のすぐ下の妹千代が庫三先生の母親になるその縁をもとにした「花燃ゆと初代校長吉田庫三先生」の展示を、同窓会コーナーの目玉としました。7日には庫三先生のお孫さんになります吉田家13代の吉田基子様



展示資料を見て回る吉田基子様

との調整も早めに進め、コーナーを同窓生に参加を求め、例えば同窓生の絵とか書などの作品の展示の場として活用するなど、より充実した展示ができるように検討する必要があります。

◆3回目の来年に向けては、学校側の案内をするとともに、今まで発行した記念誌や小田高絵葉書などのグッズを紹介しました。2日間の来場者は140名となり、予想を越えた方々にお越しいただき、当番に当たった役員も2回目としては評価できると喜んでおりました。

ちなみに、校史展示室を訪れた方は118名でした。がその展示を見るためにお越しいただきました。坂野資料委員長(高31)の説明をこやかに聞いておられたのが印象的でした。

小田高祭に参加 第2回目は…





	年別	大学名	
		平成27年3月	平成26年3月
国 立	北海道大学	4(2)	5(4)
	弘前大学	0	1
	東北大学	5(2)	4
	宮城教育大学	0	1
	山形大学	0	1
	茨城大学	0	1
	群馬大学	1	0
	筑波大学	1	4
	埼玉大学	0	1
	千葉大学	1	5(2)
	東京海洋大学	1(1)	2
	お茶の水女子大学	1(1)	0
	電気通信大学	2(1)	1(1)
	東京大学	0	1
	東京医科歯科大学	2	1(1)
	東京外国语大学	2(1)	4
	東京学芸大学	1	2
	東京工業大学	2	4(1)
	東京農工大学	2(1)	1
	一橋大学	3	4(2)
	横浜国立大学	13(2)	6(1)
	金沢大学	1	0
	信州大学	1	4(1)
	岐阜大学	0	2
	静岡大学	8(2)	4(2)
	名古屋大学	2(1)	2
	福井大学	1(1)	0
	京都大学	1	4(3)
	大阪大学	1(1)	3(3)
	神戸大学	3(2)	0
奈良教育大学	0	1	
奈良女子大学	0	1	

	年別	大学名	
		平成27年3月	平成26年3月
私 立	関東学院大学	2	6
	北里大学	21(10)	17
	共立女子大学	3(1)	0
	杏林大学	7(1)	2
	近畿大学	1	0
	慶應義塾大学	20(3)	26(9)
	惠泉女学園大学	1	1
	工学院大学	11(5)	4(3)
	国学院大学	15(5)	7(3)
	国際医療福祉大学	7(2)	1
	国際基督教大学	1(1)	0
	國土館大学	3	2
	駒澤大学	15(3)	17(1)
	駒澤女子大学	5(3)	1
	相模女子大学	2	3
	産業能率大学	1	0
	実践女子大学	4(1)	1(1)
	芝浦工業大学	10(2)	9(6)
	順天堂大学	8	9
	上智大学	23(2)	11(2)
	昭和大学	4(3)	1
	昭和女子大学	3(1)	0
	昭和薬科大学	11(3)	6
	女子栄養大学	1	2
	女子美術大学	0	2(2)
	成蹊大学	9(6)	8(1)
	成城大学	11(5)	4
	聖隸クリストファー大学	0	1
	専修大学	23(5)	17(3)
	創価大学	0	6
大正大学	1(1)	0	
大東文化大学	0	3	
多摩美術大学	2(1)	13(1)	
玉川大学	13(2)	11(1)	
千葉工業大学	2(2)	0	

	年別	大学名	
		平成27年3月	平成26年3月
私 立	東京福祉大学	1	0
	東京薬科大学	9(4)	3(1)
	東京理科大学	38(14)	30(12)
	同志社大学	4(1)	1(1)
	東邦大学	1	2
	東洋大学	19(6)	5(1)
	東洋英和女学院大学	5	1
	獨協大学	1	0
	二松学舎大学	2	0
	日本大学	44(16)	34(9)
	日本社会事業大学	0	1
	日本獣医生命科学大学	1(1)	0
	日本女子大学	10(3)	10(4)
	日本女子体育大学	1	0
	日本体育大学	1	0
	フェリス女学院大学	0	1(1)
	文教大学	4(1)	3
	法政大学	75(22)	63(20)
	星葉科大学	2(1)	4
	武蔵野大学	2(1)	5(1)
	武蔵野美術大学	1(1)	2
	明治大学	99(23)	83(31)
	明治学院大学	47(8)	48(6)
	明治薬科大学	3	0
	名城大学	1	0
	明星大学	5(1)	0
	目白大学	0	1(1)
	横浜創英大学	0	2
	横浜薬科大学	5(3)	2
	酪農学園大学	2(2)	0
立教大学	49(13)	29(8)	
立正大学	2(1)	3	
立命館大学	7(1)	5(3)	
立命館アジア太平洋大学	4	1	
早稲田大学	80(12)	55(17)	

大学別	年別	
	平成27年3月	平成26年3月
国 立 大 学	59(18)	70(21)
公 立 大 学	25(7)	29(4)
私 立 大 学	1028(274)	824(208)

※()内はそのうち過年度の卒業生



第27号

神奈川県立小田原高等学校
同窓会 櫻友会連絡先
お城越え、二の丸から山上に春一番
電話・FAX 0465-20-3281
メールアドレス kenyukai@odako.org
私書箱 〒250-8691
日本郵便株式会社小田原郵便局
私書箱15号
県立小田原高等学校同窓会
WEBサイト <http://odako.org/>



小田原高校同窓会 櫻友会ウェブサイトを
ご活用ください

小田原高校同窓会

検索



◆携帯から住所変更等を
連絡できます

メールは kenyukai@odako.org

同期会、地域・職域同窓会、部OB会などの開催案内をウェブ
サイトに掲載し、広く参加を呼びかけることができます。

ホームカミングデーの開催の様子をはじめ、同窓会の活動や
小田高の写真をご覧になれます。

住所変更をウェブサイトから同窓会に連絡したり、同窓会に
各種問い合わせをすることができます。

「八幡山」の原稿も募集中です。会費納入もお忘れなく!!